

## 「フライト・プラン」の活動報告



ブラジルは世界でも鳥の種数が多い国のひとつで、およそ1,800種もいると言われています。しかし、そのうち170種が絶滅の危機に瀕しています。多くの鳥がペットなどの違法取引のために密猟されており、絶滅の危機の一因となっています。

「フライト・プラン」は、密猟などで捕獲された鳥の野生復帰を目指すプロジェクトで、2016年はサンパウロ州の環境事務局と共同で3ヶ所の試験放鳥エリアを選定し、10月から12月にかけて合計19種、297羽を放鳥しました。放鳥した個体にはすべて事前に健康診断を実施しており、放鳥後も地域住民と共同で実施しているモニタリングによって状況を追跡しています。また、このプロジェクトの経験を他の地域での放鳥活動に活かしてもらうため、放鳥活動に関する手引書を作成し、公開しました。

今後は、新たな放鳥エリアの追加や、バードウォッチングを通じた学生への普及啓発などの実施を計画しています。今後とも継続的なご支援をどうぞ宜しくお願い致します。



試験放鳥エリアにおけるモニタリングの参加者

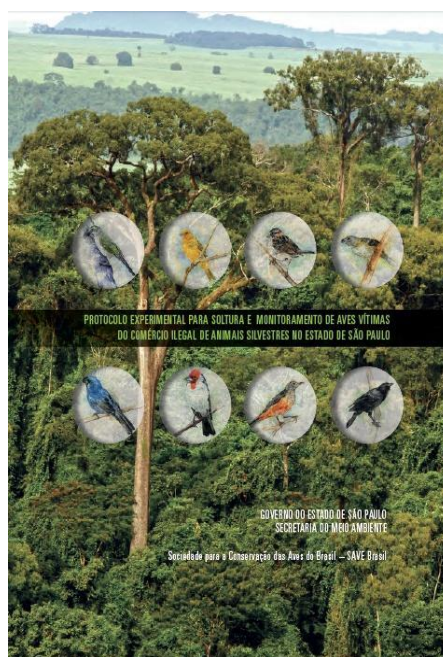




モニタリングで確認された放鳥された個体（足輪が装着されている）：アカエリシトド（左）とオリーブイカル（右）



放鳥の様子



放鳥活動の手引書